



北海道

「破綻の街」の石炭博物館再開業

夕張市 4月28日、約2年かけ大改装工事を行なってきた石炭博物館（同市）が再開業。1980年の開業以来初の「大改造」で改修費は約7億4000万円。目玉は国内唯一の地下に設けられた炭鉱模擬坑道（全長約180m）。展示物も一新した他、1階部分は無料で入場できる自由ホールも新設。かつて炭鉱の街として活況を呈していた当時の模様や2006年に市を財政破綻に追いやったリゾート開発などに関する資料も展示。4月1日に運営は市からNPO法人炭鉱の記憶推進事業団（本部・岩見沢市。吉岡宏高理事長）に移譲、初年度1万4000人の来場者を見込む。入館料は大人1080円（税込）。

青森

コーヒー炭焼き焙煎で村おこし

西目屋村 かつて有名な木炭「目屋炭」の産地だった同村は村おこしの一環としてこの復活に挑むが、4月12日、目屋炭でコーヒーを焙煎す

る施設を村内の「道の駅津軽白神」（ビーチにしめや）に新設すると発表。来年4月開業予定で、コーヒーや豆の販売、焙煎体験コーナー併設も予定。弘前市でカフェ「成田専蔵珈琲」を営む弘前コーヒー・スクール（本社・同市。成田専蔵社長）が運営し青森銀行（本店・青森市。成田晋頭取）も協力、同日3者は「地方創生に向けた企業立地に関する協定」を締結。総事業費は約2億9000万円、半分は国の交付金。地域ブランド「白神焙煎炭焼珈琲」を目指す。

岩手

小学校がハンバーグ工場に

一関市 4月26日、肉レストラン「格之進」^{かくのしん}を運営する門崎^{かみさき}（本社・同市。千葉祐士代表取締役）は、廃校となった旧同市立門崎小学校の体育館を改装したハンバーグ工場を稼働した。同社は同小学校を5年前に借り受け約4億円を投じて本社に改装、同工場はその一環。延べ床面積は約790㎡で、年生産能力は約1600万個で、初年度は約100万個。

秋田

劇団が「なまはげ」ビール発売

仙北市 4月13日、劇団運営のわらび座（本社・同市。山川龍巳社長）は酒類製造部門「田沢湖ビール」から「なまはげ」をあしらったラベルのビールを発売。インバウンド需要を狙ったもので、既存の「アルト」「ゲルシュ」「ピルスナー」「バイツェン」「ダイクラガー」の5種に新ラベルを貼付。「あきた芸術村」（同市）や全国の酒販店で販売。1本（330ml）で475円（税抜）

山形

赤ちゃんアザラシの名前決定

鶴岡市 3月21日に市立加茂水族館で誕生したゴマファザラシの赤ちゃん（オス）に5月7日、「しょうへい」と命名。米大リーグで活躍中の大谷翔平選手にちなんだもので、来場者による応募約2500通から選ばれた。

宮城

「潮風トレイル」名取―岩間間開通

宮城県 4月24日、長大な散策



ゴマファザラシの赤ちゃん「しょうへい」
（加茂水族館）



「田沢湖ビール・なまはげラベル」
（わらび座）

歩道構想「みちのく潮風トレイル」のうち、同県の名取市―岩間市の海岸沿い約22・5kmが完成。名取川・閑上大橋から南下、再建された閑上の市街地を縦断、仙台空港の臨みながら、岩沼市の「千年希望の丘」や阿武隈川沿いを通る。「みちのく潮風トレイル」は東日本復興事業とし

て環境省が整備、青森県八戸市、福島県相馬市900km超で日本一長を誇る。現在八戸市、岩手県宮古市、岩手県釜石市、宮城県気仙沼市などが部分開通している。

福島

相馬の名海水浴場が8年ぶり再開

相馬市 4月24日、市や市観光協会などは、遠浅・綺麗で名高い市内の原釜尾浜海水浴場を今夏再開することと合意。東日本大震災以来8年ぶりの「海開き」で、防波堤復旧や瓦礫撤去により安全性が確保、同海水浴場周辺の水質調査でも放射性物質が無検出の状態が続いていることからゴーサインを出した。開設は7月21日、8月19日で、駐車場や「海の家」も設置予定。万が一のことも考慮し、津波警報発令など緊急時の避難経路も確定するなど安全対策を徹底させる。

栃木

「餃子通り」が正式旗揚げ

宇都宮市 4月26日、「餃子の町」として名高い同市は中心部を東西に延びる「宮島町通り」（約

160m）を「餃子通り」に改名。観光誘致の一環で、通り沿いには餃子店5軒が連なる。秋にはマンホールや路面も「餃子仕様」に変更する模様。市DC推進委員会では、DC期間の六月末までの土日祝日、通り沿いの立体駐車場の一角に臨時観光案内所を設け、うつのみやシティガイド協会のメンバーらが、市内の観光地などを案内している。

茨城

書籍運搬ロボット図書館に導入

つくば市 4月11日、同市立筑波中央図書館に導入された4輪追従運搬ロボット「ハイザー」が報道陣に公開。ロボット開発会社Doo8（ドゥーグ。本社・同市。大島章代表取締役）が2015年11月に発売を開始したもので、最大120kgの積載能力を持ち荷台下部のレーザースキャンで人や台車を認識し追従するというスグレモノ。すでに国内物流企業やシンガポールの空港内レストランの給仕用として導入されているが、図書館の書籍運搬用としては国内初の試み。同市では「つくば市トライアル発注認定制度」で同ロ

ボットを購入し、すでに市役所内の通常業務に使用して来たが、今回日常業務での活用可能性を探るため、3月23日、5月31日に図書館で試用、改良点などを探る。

群馬

東海ガスが初の県外ガスサービス

下仁田町 4月20日、これまで同町が運営して来た同町の都市ガス事業を静岡県の焼津、藤枝、島田各市でガス事業を展開する東海ガス（本社・焼津市。高橋信吾社長）に譲渡すると発表。2017年4月の都市ガス小売り自由化に伴うもので、同社としては初の県外進出。契約件数は約1300件、年間売上高約1億4000万円。事業の正式移譲は2019年4月の予定だ。

千葉

幕張新都心新駅計画が大きく前進

千葉市 東京と千葉を東京湾岸沿いで連絡するJR京葉線の幕張新都心地区、新習志野駅、海浜幕張駅間約3.4kmのほぼ中間（同市美浜区）に新駅を建設する構想が、1991年に県により具体化され

埼玉

「ポテくまくん」バス発進！

秩父市 5月1日、同市は市営コミュニティバス浦山線（秩父駅前・市立病院、西武秩父駅前、浦山ダム、浦山大日堂）に、市のイメージキャラクター「ポテくまくん」をラッピングした車両（13人乗りのワンボックスタイプ）を運行開始。なお同路線はかつて秩父鉄道観光バスが運営していたが、赤字のため廃止の声も出たが、市民の足確保のため



「ボテくまくん」をラッピングしたバス（秩父市）

2008年に市が引き継ぎ、「ぬくもり号」として再スタートしている。

東京

八王子に親子向けテーマパーク

八王子市 4月27日、レジャー施設運営の山崎屋（本社・金沢市・山崎健造代表取締役）は同市の京王堀之内駅前に親子向け巨大室内テーマパーク「東京あそびマール」を開園。延床面積は約6700㎡、通年雪遊びができる「スノータウン」が目玉で、18℃20℃の体感気温ながらも雪を維持管理する特殊なシステムを採用した日本初のアトラクション。この他にミニ電車やゴーカート、フードコートなどもある。

営業時間は10時～19時で原則年

中無休。入場料は0歳無料、1歳600円、2歳以上1000円など。なお、「あそびマール」の展開は大阪市に続く2件目。

神奈川

「のりもの」がわんさか集合！

横須賀市 6月9日（土）、10日（日）の2日間、軍港・横須賀が「のりもの」達に席巻！「大イベント」「よこすかYYのりものフェスタ2018」が、JR横須賀駅、ヴェルニー公園、シヨップスプラザ横須賀1階店頭

広場、海上自衛隊横須賀地方総監部、ドック通りなどで開催。鉄道や自動車、海自の艦艇など、多種多様な「のりもの」が集合、子供向け制服記念撮影やミニ鉄道乗車体験、よこすかグルメの出店など、ファミリーで楽しめるイベントが盛り沢山。特に伊豆急行の2100系黒船電車や護衛艦搭載ヘリの地上展示、海自横須賀音楽隊の演奏が注目だ。

新潟

44年ぶりに新潟・粟島航路復活

粟島浦村 4月中旬、同村は新潟市—粟島航路（約61km）を44年ぶ

りに試験的に復活させる方針を固めた。訪日客誘致も狙いで、社会実験として6月29日～7月29日の平日15日間、1日1往復の運航を予定。離島活性化交付金を利用、粟島汽船（本社・同市。本保建男社長）の高速船「きらら」を投入。なお同島と村上市の岩船港を結ぶ航路（高速船片道約55分、フェリー同約1時間半）が現在本州と連絡する唯一の航路。

山梨

カーナビ部品メーカーが温泉施設

都留市 4月30日、地元のカナ

ビ部品メーカー・WAYS（渡辺庸一会長）が、市内の富士急行線都留市駅近隣に温泉施設WAYSを開業。延床面積は約3500㎡で、3階建ての温泉棟と、全37室で4階建ての宿泊棟（37室）、2階建ての別棟（エステなど）を配する。目玉は源泉かけ流しの露天風呂で、ジェットバス、ミストサウナなども設置。総事業費は約21億円、年間約20万人の利用客を見込む。営業時間は10～23時、入館料は大人980円（タオル、館内着付き1280円）。

静岡

メガソーラー計画条件付き開発了承

伊東市 4月26日、県は同市で

計画中の大規模太陽光発電所（メガソーラー）に関し、条件付き答申案を提示、林地開発を了承。伊豆高原メガソーラーパーク合同会社（本社・中央区。朴聖龍代表取締役）が推進するもので、事業面積約105万㎡の林地にソーラーパネル約12万枚を設置、発電量約40・7MWを見込む。事業面積の57%の森林は温存する模様で、当初は2017年12月～2020年3月に着工、2020年春の稼働を目指したが、森林伐採面積に誤りがあるなどで審議が延長。ただし今回これは審議に重大な影響を及ぼさないと判断。だが今後環境配慮などで県・市の理解が得られなければ建設許可が下りない可能性も。ちなみに同社は、韓国で化学、機械、エネルギー、金融などを手がけるハンファ・グループの日本人で、またソーラー関連のシリコンバンク（本社・中央区。名畑和政代表取締役）が共同事業者。

長野

旧軽井沢ホテルが「ヒルトン」に

軽井沢町 4月19日、旧軽井沢ホテルが米ホテルチェーンの雄・ヒルトン系列の高級リゾートホテル「KYUKARUIZAWA KIKYO」としてリニューアル。同ホテルは1979年に開業、軽井沢を代表する富裕層向けホテルで、3階建て50室、大半が40㎡以上を誇り、1泊2食付き1人4万円台半ば。2017年に東急不動産（本社・港区。大隈郁仁社長）が2017年に取得、全面改装を実施。今後サービスや営業のノウハウなどをヒルトンが提供、同社が有する膨大な海外富裕層の顧客データベース・予約システムを駆使して集客アップを図る。

岐阜

女子限定の長良川鵜飼クルーズ

岐阜市 5月25日、岐阜観光コンベンション協会（本部・同市。村瀬幸雄会長／岐阜商工会議所会頭）は、月末金曜日の「プレミアムフライデー」に女子限定の長良川鵜飼遊覧ツアー「女子旅クルーズ」を開催。全国の温泉地NO1を決めるネット投票「温泉総選挙2017」で、長良川温泉が女子旅部門1位を獲得したことを祝したものの、参加料5500円で1日1隻・16人の女性限定。岐阜の有名店「楳（mei）min」の弁当や限定スイーツ、さらに長良川温泉旅館の「専用焼き船」で焼き立ての鮎を直接船までお届けするサプライズも用意。

愛知

市役所がタブレット端末で通訳

大府市 5月1日、同市役所の窓口で、ネットを介し遠隔地にいる通訳者とアクセス、訪れた外国人居住者にタブレット端末で通訳するサービスを開始。同市には自動車関連企業が多く、現在外国人居住者は約

2500人、人口の3%弱を占める。

このため同市は以前から英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語の4カ国語の通訳者を同席させて対応してきたが、今回これをタブレット端末に変更し、さらに12カ国語に増やした。

富山

地元企業が無料の「足湯公園」

富山市 4月8日、産業廃棄物処理のアイザック（本社・富山県魚津市。石崎大善社長）は、富山市内の岩瀬スポーツ公園に隣接する同社事業本部敷地内に、無料の屋根付き足湯施設を配した公園「ヒエ・パルク」を開園。地域貢献の一環で敷地面積は約3470㎡、足湯の定員は約15名で、大用スペースも設置。湯は春日温泉郷のもので毎日交換。お洒落なカフェも併設。

石川

日本海側初のPM備えた水族館

七尾市 4月27日、同市の「のこじま水族館」の回遊水槽が「のこ海遊回廊」となつてリニューアル。目玉は約2・8mの水深を誇る新水槽。柱の面積を減らして眺めをよく

した他「観察ドーム」も新たに2カ

所設置、直近で魚群を感じることが出来る。加えて日本海側の水族館では初のプロジェクション・マッピング（PM）を導入、クラゲやジンベエザメなどが回遊する映像を水槽に常時映し出す。

福井

地元実力者が建てた洋館が大改修

南越前町 4月29日、同町今庄地区にある国の登録有形文化財「昭和会館」の大改修が完了、公開された。地元で木炭業や運送業などで財をなし県議も務めた実業家・田中和吉氏が1930（昭和5）年に完成させた3階建ての洋風建築物で、クリーム色の壁が特徴的。かつては町役場や公民館としても利用。耐震性に問題があるため同町が約1億8000万円を投じ大改修した。

三重

中部電が巨大バイオマス発電所

四日市市 5月1日、中部電力（名古屋市中区。勝野哲社長）は、同社の四日市火力発電所施設内で

大型木質バイオマス発電所の建設を開始。CO₂削減の一環で、発電出力は約4万9000kW、年間発電電力量は約3.8億kWh（一般家庭約12万世帯分）を想定。木質ペレットやパーム椰子殻を燃料とし、年間約22万tを使用。年間約16万tのCO₂削減効果があり、2020年4月の運転開始予定。

奈良

旧イトーヨーカドーが“変身”

奈良市 4月24日、同市にあった旧イトーヨーカドー奈良店（2017年閉店）の施設を再生した複合商業施設「ミ・ナウ」が開店。地上7階建てで、最上階に家族向けホテル「センチュリオンホテル」（45室）を併設したのを皮切りに、金魚の名産地である近隣の大和郡山市をモチーフにした「金魚ミュージアム」、忍者が体験できる施設「NINJA TOWN・忍塾」など訪日客を意識したアイテムも盛り沢山。食品スーパーや各種雑貨店、飲食店など約70店舗が入居する。年間2000万人の来訪者を見込み、年間売上150億円を目指す。

滋賀

滋賀銀が日本初のSDGs融資

大津市 3月23日、滋賀銀行（本店・同市。高橋祥二郎頭取）は全国初のSDGs（持続可能な開発目標）に貢献する事業を支援する「ニュービジネスサポート資金（SDGsプラン）」の取り扱いを開始。4月17日第1号として、水質浄化事業のウィルスステージ（本社・草津市、大谷洋士社長）に融資したと発表。対象事業は同社が受託した皇居外苑濠（日比谷濠）からアオコを除去する水質浄化技術実証プロジェクトで、実証実験用の浄化ユニット導入などにする資金に充てる。同プランの適用対象は創業1年以上で、社会的課題の解決に利する事業を行なう企業・個人。通常融資の金利より最大0.3%優遇し、最大額は1億円。

京都

障害者の就労を後押しするパン屋

京都市 5月7日、社会福祉法人「京都身体障害者福祉センター」（本部・同市南区。安田行雄理事長）が運営する「京都市だいご学園」

は、パンの製造販売や店舗での接客を通じて知的障害者の就労を支援するカフェ&ショップ「ふらっと」（同市伏見区）に開店。提供されるパンは約50種（大半が単価100円台）に及び、パン職人の指導の下で焼かれた本格的なもの。同学園ではこれまでも飲食店などへの業務用として、障害者がパンなどを製造していたが、今回はさらに店舗での接客も盛り込み、地域住民との交流も図るのが狙い。店内には地元産木材を多用、温もりのあるゆつたりとした内装に仕上げてるのが特徴だ。

大阪

ローソン竹増社長が観光大使に

池田市 5月7日、同市は大学まで地元で暮らしたローソン（本社・品川区）の竹増貞信社長を観光大使に抜擢、倉田薫市長が委嘱状を授与。またこれに合わせるかのように、同日は改装中だった市立池田病院の1階に、病院内店舗の「ホスピタルローソン」の300店舗目、「ローソン市立池田病院店」が開店、早くも“PRマン”としての辣腕を発揮している。

和歌山

熊野古道の美術館が20周年企画

田辺市 4月21日〜7月1日、市立美術館の分館、熊野古道なかし美術館が開館20周年を祝しコレクション特別公開「晩花と凌雲」を開催。国画創作協会の設立に参画、京都画壇のリーダーの1人だった野長瀬晩花（1889〜1964）と、日本南画院の設立に参画、同副理事長を務めた渡瀬凌雲（1904〜1980）の二人の巨匠は共に地元



池田市観光大使となったローソンの竹増社長（左）と倉田市長（池田市）



「晩花と凌雲」チラシ
（なかへち美術館）

に縁が深く、同館は両者の作品を多数保有、今回無料で特別公開する。

兵庫

県内初の子供支援財団が旗揚げ

明石市 5月1日、「子どもたちを地域ぐるみで支える街」を標榜する同市は一般財団法人「あかしこども財団」を設立。子供支援のための人材育成、市民やNPO、地元企業などとのネットワーク構築、子供育成に関する団体の設立と企業による子供支援のサポートが取り組む

三本柱。市の拠出金や企業、個人からの寄付で基金を賄い、今年度は前述の三本柱の他、市立小学校全28校での「こども食堂」の開設を目指す。

岡山

造船会社が港にトレーラーホテル

玉野市 4月20日、三井E&Sホールディングス(旧三井造船。本社・中央区。田中孝雄社長)のグループ企業 MESSファシリティーズ(本社・千葉県市原市。中谷勤社長)は、同市の宇野港駐車場でトレーラーホテル「SORAUMI」をオープン。乗用車で牽引する宿泊

用トレーラーを5台(定員4〜6名用2台、2〜3人用3台)配し水道・電気も敷設、車内にはシャワーも設け冷暖房も完備。宿泊料は1泊1人4625〜6500円。「アートの島」で名高い香川県直島の玄関口という地の利を活かし、格安な宿泊訪を求める訪日客などの需要を狙う。

広島

広島市内に乾杯叫ぶ「独立国」?

広島市 4月21日、同市西区のJR横川駅周辺の商店や住民で結成する「横川地区魅力発掘・発信検討委員会」は、地元飲食街の活性化を目指す一環で異文化交流を促進する企画「横川カンパイ!王国を建国します」をスタート。個性的な飲食店が密集し、かつ良質な映画の上映や各種文化イベントの開催で名高い「横川シネマ」、女子サッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」の母体、NPO法人「広島横川スポーツ・カルチャークラブ」の本部や、競技用ボイスメーカーとして有名なモルテン(民秋清史社長)が本社を置くなど、文化的異彩を放つ街として近年注目の

街で、訪日客の誘致を意識した多種多様なイベントを展開していく。

鳥取

米子城で60m超の竪堀跡を発見

米子市 4月21日、同市文化推進課は国の史跡、米子城の本丸近く、二の丸枳形本丸番所跡に北東へと延びる竪堀(全長約63m、幅約13m、深さ2〜6m)を確認。当時の「軍事機密」らしく既存の絵図などには示されていないもの。中世の山城に多用された防御施設で、本丸を包囲しようと接近した敵が横方向に回り込むのを阻むのが狙い。今回の調査は2015年度から進められている「史跡米子城跡保存整備事業」の一環で、2016年度には「登り石垣」を確認、これらの二段構えで城を防御していたことが伺える。

なお同城は1591(天正19)年に吉川広家が本拠を富田城から米子へと移した際に築城を開始したもの。

島根

地元産ソバが原料の発泡酒

邑南町 5月1日、同町観光協会は地元産ソバを原料にした発泡酒

「邑南プレミアムソバモルト」を発売。2015年に町おこしの一環として開発・販売した「ハーブモルト」(バジル、レモングラスの2種)の第二弾で、地元産の玄そばを焙煎し香りを際立たせ、すっきりとした味わいが特徴。同協会がある「香木の森クラフト館」だけで購入可能で、価格は1本(310ml入り)540円(税込)。

山口

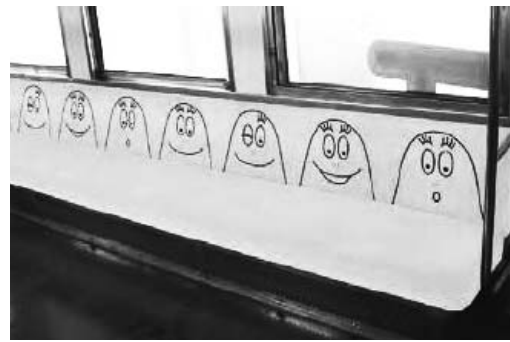
工場夜景をクッキーに

周南市 4月30日、周南観光コンベンション協会(本部・同市。原田康宏会長)は、町おこしの一環として、日本屈指の石油化学コンビナートを抱え、近年その煌びやかな夜景が「日本10大工場夜景」にも選ばれ観光資源になっている点に着目、その光景を焼き付けた「周南工場夜景プリントクッキー」を企画・発売。価格は15枚入り、864円(税込)。

香川

バーバパパが「ことでん」を占拠?

高松市 4月23日、高松琴平電気鉄道(ことでん。本社・同市。真



「バーバパパ号」のピンク色の座席（ことでん）

鍋康正社長）は、アニメキャラクター一色に飾り上げた「バーバパパ号」（2両編成）を発進。「バーバパパ」をイメージキャラクターとする百十四銀行（本店・同市。綾田裕次郎頭取）が今年創業140年を迎えることを祝した記念企画で、ことでん全区間を約1年間運行。車体はもちろん内装や座席にも「バーバパパ」をあしらひ、さらに網棚には小さくて愛くるしいフィギュアもぶら下がるという凝りようだ。

愛媛

経済同友会が近隣同友会と防災協定

愛媛県 4月19日、愛媛経済同友会（本部・松山市。代表幹事…本田元広・愛媛銀行頭取、山本恒

久・えひめ洋紙社長）は、近隣の土佐（本部・高知市。代表幹事…弥勒美彦・ミロク社長、小川雅弘・ティーエルホールディングス社長）、広島（本部・広島市中区。代表幹事…池田晃治・広島銀行頭取、佐々木茂喜・オタフクホールディングス社長）、大分（本部・大分市。代表幹事…姫野昌治・大分銀行会長、福島知克・大分ガス社長）の各経済同友会との間で「大規模災害時相互協力協定」を締結。災害時に各同友会の参加企業が物資や資機材の提供、従業員派遣などで協力・支援するもので、こうした経済団体間での連携は極めて珍しい。

徳島

交流拠点「新鮮なつとく市」開業

徳島市 4月1日、同市のマリニピア中洲で建設中だった交流拠点施設「徳島新鮮なつとく市」が開業。運営母体は弁当製造販売業の「さわ」（本社・同市。森永良二社長）で、県が徳島小松島港周辺の交流拠点づくりのアイデアを公募、同社が提案した企画が2017年6月に採用。物産館は鉄骨平屋で

延べ床面積約180㎡、レストラン棟（約80席）同330㎡などを建設、県産の魚介類・農産物を扱う直売市を始め、全天候でバーベキューが可能なテラス席、各種飲食店、釣り堀（全長約11・5m、幅5m、深さ約2mでシマアジ、マダイなど海水魚を放流）などを併設。総事業費は約3億2000万円、4000万円は国・県の交付金で賄った。初年度は来場者数3万6000人、売り上げ3億円を見込む。

高知

23年ぶりにカワウソの赤ちゃん

香南市 3月10日、同市の県立いち動物園（運営母体は高知県のいち動物公園協会。吉村和久理事長）で、ユーラシアカワウソの赤ちゃんが誕生。同園では23年ぶりで、親は福島県の水族館から来た「ヘレス」（オス）と、「アカネ」（メス）。体長約15cm、体重約70g、5月中には一般公開される模様。

福岡

「九州最小の町」のPRトラック

吉富町 4月13日、同町に本社を

置く物流企業アイエヌライン（奈賀幾次郎社長）は、全国を走る自社保有の大型トラック3台に「九州一小さな町」と大きくラッピング、地元PRに乗り出した。他にも「縁起良すぎな町名」「子育て世代増加中？」や、中には「大分県なの？福岡県なの？」といった少々自虐的なコピーも。とにかくインスタ映えするトラックがしばらく津々浦々に出没する。

佐賀

観光農園の入園料割引の定期積立

佐賀県 5月1日、JAバンク佐賀（運営母体は佐賀県農協。本部・佐賀市。大島信之組合長）は、観光農園と提携、入園料の割引などの特典を付けた金融商品「収穫体験定期積金『もぎたて』」を発売。個人対象で積立期間2年以上、新規契約20万円以上が条件で金利は契約時の店頭表示金利の2倍。特典対象農園は、鳥栖ベリーフォレスト（鳥栖市）、西山田農園（佐賀市）、井手野観光栗園（同）、道の駅 伊万里ふるさと村（伊万里市）、横田上観光ぶどう園（唐津市）、はりも果樹園（太良町）の県内6カ所で、入園



「九州一小さな町」をラッピングしたトラック（アイエヌライン）

料の1000円〜20%オフや食べ放題コース2000円引き、食事1割引などの特典が得られる。

長崎

ジャパネットが新スタジアム構想

長崎市 4月26日、大手通販のジャパネットたかた（本社・長崎県佐世保市。高田旭人社長兼CEO）は、長崎市の三菱重工業工場跡地に建設予定のサッカースタジアムの概要を発表。収容人員は約

2万3000人で音楽イベントも可能とし、加えて客室数300室規模のホテルやマンション、商業施設、オフィス、アリーナなども併設。総事業費は500億円（うちスタジアムは百数十億円）規模に達するという。

大分

六郷満山開山1300年記念切手

大分県 4月25日、日本郵便（本社・千代田区。横山邦男社長）の九州支社（熊本市中央区）は、県の国東半島宇佐地域で伝承される六郷満山（神仏習合が特徴の山岳仏教）の開山1300年を記念したオリジナルフレーム切手を発売。仏像や寺院、鬼面などをデザインとした82円切手10枚シート「神と仏と鬼の郷」で価格は1300円（税込み）。960シート限定で、豊後高田、杵築、国東、別府、中津、宇佐各市、日出町、姫島村の郵便局（一部簡易郵便局は除く）で販売。

熊本

復興支援で人気漫画作者に栄誉賞

熊本県 4月4日、県は熊本地震の復興支援で多大な貢献をしたと

して、人気漫画「ONE PIECE（ワンピース）」の作者で熊本市出身の尾田栄一郎氏に県民栄誉賞を授与。尾田氏は南阿蘇鉄道（本社・同県高森町。草村大成社長・同町長のラッピング列車へのイラスト提供など、故郷への支援活動を精力的に続けている点が評価された。

宮崎

武家屋敷を利用したカフェ開店

日南市 4月24日、江戸期の武家屋敷町を保存することで名高い同市飢肥地区に、新カフェレストラン「武家屋敷 伊東邸」が開店。伊東藩主の分家の子孫が所有する土地（約1400㎡）と古民家を飲食店経営のスタイルシー（本社・同市）の本田清大代表取締役が購入、地元産の飢肥杉を使用した武家屋敷風の建物を建築。周囲の景観に馴染ませているのが特徴。主玄関（客用）と家族用玄関が別であったり、苅の葉を練り込んだ漆喰を壁に塗ったりなどこだわっている。かまど飯とお茶の「おび茶寮」と、ジュース&ジェラードの「おれんじ亭プラス」の2店舗で構成。

鹿児島

名士・長沢鼎を冠したワインバー

鹿児島市 5月3日、同市の城山観光ホテル（運営母体は城山観光。本社・同市。東清三郎社長）は、今年創業70周年、ホテル開業55周年を迎えることから、これを記念し地元の名士・長沢鼎（1852〜1934）にちなんだワインバー「ザセラーン バロン・ナガサワ」をオープン。長沢は幕末に薩摩藩が英国に派遣した留学生の一人。後に渡米しカリフォルニア州で有数のワイナリーを経営。

沖縄

モータースポーツ場構想の場所決定

沖縄県 5月7日、同市が構想するサーキット場「モータースポーツ多目的広場」の建設場所に、市内の旧倉浜（ごみ処理場跡地（約1万5000㎡）を有力候補として選定したと公表。2018年度中に基本設計・実施設定に策定、2020年度に着工、同年内の供用開始を目指す。なお、同種のモータースポーツ施設を建設する自治体は県内初だ。